



出荷後半まで品質の良いきゅうりを期待 邑楽館林産きゅうりの試食宣伝会が開催！

J A 邑楽館林産きゅうり試食宣伝会

- 期日：3月9日(金)
- 場所：築地市場 東京シティ青果(株)
- 主催：J A 邑楽館林・J A 全農ぐんま
- 内容：J A 邑楽館林産きゅうりの紹介や試食宣伝等

■群馬県の平成29年きゅうり入荷量は第1位！

これから群馬県産春きゅうりが本格出荷を迎えることから、J A 邑楽館林、J A 全農ぐんま職員が、築地市場で試食宣伝会を開催しました。

群馬県のきゅうり都中央入荷量は、平成25年では2位でしたが、平成26年の雪害によるハウス倒壊で4位に後退してしまいました。しかし、群馬県の生産者や関係機関の努力によって復興がなされ、H27年には3位、H28年には2位と年々上昇し、平成29年にはついに1位になりました。

■冷え込みが強いが日射量は良好で生育順調！

当日は群馬県内で5割以上を出荷しているJ A 邑楽館林の関係者が、これから出荷が本格化する「春きゅうり」の食味の良さをPRしました。

試食品は、豆板醤の程よい辛さをアクセントとしたごま油とにんにくの風味を効かせた「中華風たたききゅうり」が市場関係者に提供されました。「たれもうまいがきゅうりもうまい。」「食感が良いね。」と大変好評で、きゅうりのレシピ集や邑楽館林の農産物や観光のパンフレットも配布され、きゅうりの食味の良さや地域の魅力をPRしました。

邑楽館林のきゅうり生育は、2月は乾きと冷え込みが強く一部生育の遅れていたほ場も見られましたが、日射量は良好なことから生育は概ね順調とのことです。病害虫の発生も少なく、3月中～下旬にはまとまった数がでて、GW頃にピークを見込んでおり、6月いっぱいまで出荷が行われるとのことです。

市場関係者からは、「5月から福島県や岩手県等の夏きゅうりの出荷が増えてくる。この頃関東近在産は成り疲れと病害虫の発生等で品質が悪化してしまうと、お客さんは早めに東北産に切り替わってしまう。ハウス内管理が難しくなってくる3月のこの時期から病害虫の少ない管理を心がけて最後まで品質の良いきゅうりを出荷してもらえれば、群馬県産きゅうりを積極的に販売していくのでよろしくお願ひしたい。」とコメントがありました。



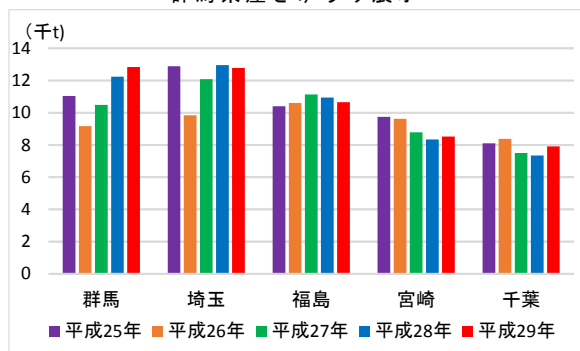
試食宣伝の様子



群馬県産きゅうり展示



きゅうりレシピとJ A 邑楽館林パンフレット



都中央きゅうり入荷量上位5産地 (H25~H29)